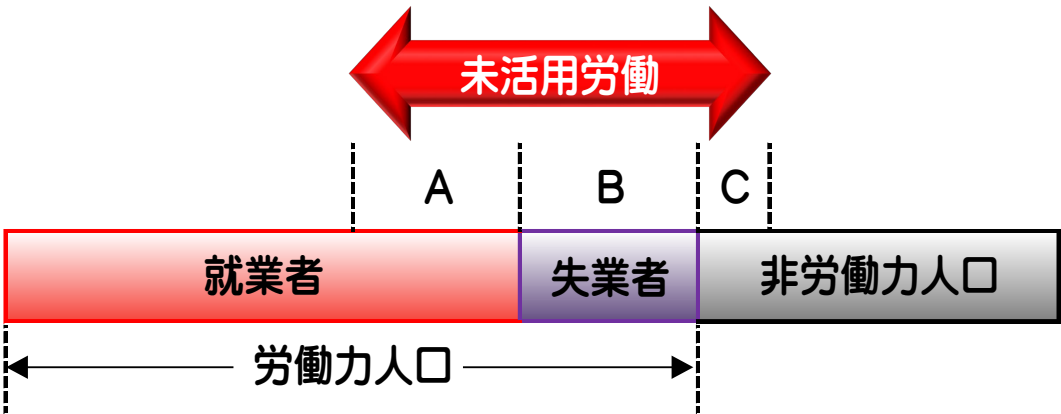


未活用労働の概念

雇用情勢をより多角的に把握するために、追加就労希望就業者（下図A）、失業者（B）、潜在労働力人口（C）を未活用労働として、2018年1～3月期から公表を開始しました。



A 追加就労希望就業者	C 潜在労働力人口
<div>① 就業者である</div> <div>② 週35時間未満の就業時間である</div> <div>③ 就業時間の追加を希望している</div> <div>④ 就業時間の追加ができる</div>	<div>就業者でも失業者でもない者のうち、</div> <div>【拡張求職者】</div> <div>① 1か月以内に求職活動を行っている</div> <div>② すぐではないが、2週間以内に就業できる</div>
B 失業者	【就業可能非求職者】
<div>① 就業していない</div> <div>② 1か月以内に求職活動を行っている</div> <div>③ すぐに就業できる</div>	<div>① 1か月以内に求職活動を行っていない</div> <div>② 就業を希望している</div> <div>③ すぐに就業できる</div>

未活用労働指標

雇用情勢をより多角的に把握するための未活用労働に関する指標は、以下の6つの指標です。

$$\text{未活用労働指標 1 (LU1)} = \frac{\text{失業者}}{\text{労働力人口}} \times 100 (\%)$$

$$\text{未活用労働指標 2 (LU2)} = \frac{\text{失業者} + \text{追加就労希望就業者}}{\text{労働力人口}} \times 100 (\%)$$

$$\text{未活用労働指標 3 (LU3)} = \frac{\text{失業者} + \text{潜在労働力人口}}{\text{労働力人口} + \text{潜在労働力人口}} \times 100 (\%)$$

$$\text{未活用労働指標 4 (LU4)} = \frac{\text{失業者} + \text{追加就労希望就業者} + \text{潜在労働力人口}}{\text{労働力人口} + \text{潜在労働力人口}} \times 100 (\%)$$

$$\text{未活用労働補助指標 1} = \frac{\text{非自発的失業者}}{\text{労働力人口}} \times 100 (\%)$$

$$\text{未活用労働補助指標 2} = \frac{\text{失業者} + \text{拡張求職者}}{\text{労働力人口} + \text{拡張求職者}} \times 100 (\%)$$

未活用労働指標を構成する関連指標

2018年平均の結果をみると、追加就労希望就業者は183万人、失業者は184万人、潜在労働力人口は37万人となっています。
また、最も包括的に未活用労働を捉えた未活用労働指標 4（LU4）は5.9%となっています。

$$\text{LU4} = \frac{\text{失業者} + \text{追加就労希望就業者} + \text{潜在労働力人口}}{\text{労働力人口} + \text{潜在労働力人口}} \times 100(\%)$$

未活用労働指標を構成する関連指標（2018年平均）

（万人）

	男女計	男	女
15歳以上人口	11, 079	5, 345	5, 733
労働力人口	6, 839	3, 814	3, 025
就業者	6, 655	3, 709	2, 946
うち 追加就労希望就業者	183	53	130
失業者	184	105	80
うち 完全失業者	168	100	68
非労働力人口	4, 240	1, 532	2, 708
うち 潜在労働力人口	37	13	24